

折尾西民児協定例会在宅医療についてアンケート結果

参加者数： 13名

回答者数： 13名

回答率： 100%

1. あなたの年代は

①50代 (4名)	②60代 (6名)	③70代 (3名)	④80代 (0名)	⑤90代 (0名)	⑥その他 (0名)
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

2. 在宅医療を知っていましたか。

①知っていた (8名)	②知らなかった (5名)
-----------------	------------------

3. 在宅医療を知っていたと答えた方。どのようにして知りましたか。

テレビで知った	2
講演会(ふれあいネットワーク)	2
家族・友人から	2
各種報道で知った	2
家族を介護していた	0

4. 在宅医療について関心を持ちましたか。

①はい (13名)	②いいえ (0名)	未回答 (0名)
---------------	---------------	--------------

5. どのようなことが印象に残りましたか。

- ・ 1人になっても、在宅療養を選択出来ると知ったこと。
- ・ 自分の親は、医療と介護の連携により、在宅で過ごせるように介護したい。
- ・ 自分の親のことと重ね、早期にいろいろ親と話してみようと思った。
- ・ 在宅のチームが出来るという事を知り、とても心強いと思った。(複数回答あり)
- ・ 『病人は病院で』と思っていたが、在宅が希望できるのであれば有難いと思った。
- ・ 在宅で看取りまで出来るということ
- ・ 困ったときに、どこに相談すればよいか分かった。
- ・ 両親(ともに癌だった)は病院で看取ったが、現在肺がん闘病中の主人は、在宅で看取りたいと思った。
- ・ ACPIについても、ちゃんと詳しく知りたいと思った。
- ・ 事例により『看取りまでの療養生活の流れ』が分かったのが良かった。
- ・ まちかど介護相談室ができたことを知った。

○ 在宅医療に対する認識は良い方に変わったが、今日のような内容が(多職種チームが皆で支える等)本当に出来るのか、スタッフにそこまでの余裕があるのだろうか？と感じた。

6. 今後、あなたは在宅医療を受けようと思いますか。

①はい (9名)	②いいえ (0名)	未回答 ⇒ (4名)	・ 今日を機に改めて考えたい ・ 病気の種類や、家庭環境によると思う ・ 家族としっかり話して決める。
--------------	---------------	-------------	---